

## Expansion and Vulnerability of Offshore Financial Centers

山形大学 山口昌樹

世界金融危機以降、国際証券投資が膨張する状況においてアイルランド、ケイマン諸島、ルクセンブルクの3つのオフショア金融センター（OFCs）が国際金融連関における存在感を急激に高めている。本研究はこれらの OFCs が国際金融システムの不安定性を高める要因となっていないのかを検証する。まず、3つの OFCs が日米英と肩を並べる規模の国際金融連関を有しており、OFCs に焦点を絞って改めて分析すべき状況にあることを示す。次に、ネットワーク分析で用いられるコミュニティ抽出を適用して、これら OFCs が国際証券投資において従来の認識とは異なるコミュニティに所属することを発見した。最後に、OFCs が抱える潜在的なリスクについて non-bank financial intermediation(NBFI)に注目して検証した。リスクは COVID-19 ショックにおける急激な資本流出として顕在化した。とりわけ、アイルランドとルクセンブルクではプライム MMF の資産急減が対処すべき課題として浮き彫りになった。国際金融システムの安定性を評価するためには NBFI に対して焦点を絞るだけでなく、OFCs も合わせて注目する必要がある。